

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日清紡精機広島株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台1丁目3番30号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 (3113)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23(2011)年度を基準年度とし、平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
フロン類			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量													
実績に対する 自己評価													

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産数量(単位:千台)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成23年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	1.387	1.317 5.0	1.062 23.0	1.157 17.0	1.215 12.0	100.0	100.0	
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計	1.387	1.317 5.0	1.062 23.0	1.157 17.0	1.215 12.0	100.0	100.0	
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.4852	0.4609 5.0	0.4084 16.0	0.3965 18.0	0.4272 12.0	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価	エネルギー消費原単位は対基準年度比で5%以上を確保しているものの、対前年比では悪化した。温室効果ガス実排出量総計は1419t-CO <sub>2</sub> と前年度より168t-CO <sub>2</sub> (約11%) 削減できたが、生産数量が前年度比で約15%減少しており、CO <sub>2</sub> 削減が生産数量減に追従しきれなかった。							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の使用によるエネルギー 起源CO2原単位は対基準年度で 94.15%削減 (原単位：0.009 t-CO2/千台)	冷房温度の適正管理（夏28℃） 空調機の運転時間短縮 空調機の適用見直し（夏季使用期間短縮、 冬季運休）
2	電気使用量の削減	電気の使用によるエネルギー 起源CO2原単位は対基準年度で 1.67%削減 (原単位：1.205 t-CO2/千台)	冷暖房温度の適正管理（夏28℃） 空調機の運転時間短縮 休憩時間の消灯の設定 エアコンプレッサの運転負荷低減 エア圧力設定の運転適正化 生産設備の効率的な運用 空調機の適用見直し（夏季使用期間短縮、 冬季運休）
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	空調使用低減による 重油、電気使用量削減		2F職場（加工場、組立職場、事務所）を レイアウト変更。空調エリア集約による空 調使用低減。（平成24年度実施済）
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。